

第1回 JR古賀駅東口周辺地区整備基本計画策定会議 議事要旨

日 時	令和2年 12月 9日(水) 14時 00分～16時 00分		
場 所	古賀市役所 501・502・503 会議室		
出席者 (敬称 略)	委員	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授	柴田 久
		熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	星野 裕司
		古賀市商工会 会長	藤本 芳博
		花鶴タクシー株式会社 代表取締役	保井 亨
		株式会社古賀タクシー 代表取締役	後藤 正典
		西日本鉄道株式会社自動車事業本部営業部営業第二課 課長	小川 裕之
		九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 鉄道・開発計画 担当課長	力武 基樹
		福岡県公立古賀竟成館高等学校 教頭	米原 光章
		福岡女学院看護大学 事務部長	武井 秀仁 (代理:鶴 典子)
		株式会社ホーホウ 代表取締役	木藤 亮太
		古賀市行政区 古賀東区長	尾塚 正明
		ニビシ醤油株式会社経営企画室 室長	玉谷 武志
		福岡県粕屋警察署交通規制課 課長	松田 雅文
		国土交通省九州地方整備局建政部都市整備課 課長	田中 耕介
		独立行政法人都市再生機構九州支社 都市再生業務部まちづくり支援室 まちづくり支援課 課長	高山 欣也
	古賀市	古賀市長	田辺 一城(中座)
事務局	建設産業部都市整備課古賀駅周辺開発推進室		
	株式会社都市環境研究所		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席表</li> <li>・議事次第</li> <li>・資料1 委員名簿</li> <li>・資料2 議事の公開について</li> <li>・資料3 会議の設置趣旨</li> <li>・資料4 JR古賀駅周辺の現状と課題</li> <li>・資料5 次回以降のスケジュール</li> <li>・参考資料 周辺駅との比較</li> </ul>		

<議事要旨>

1. 開会
2. 主催者挨拶(古賀市長)
3. 委員紹介
4. 座長・副座長選任

委員の互選により、座長を柴田委員、副座長を星野委員に決定

5. 説明および意見交換

(1)会議設置趣旨

議事の公開、会議設置趣旨について説明

(2)JR古賀駅周辺の現状と課題

## JR古賀駅周辺の現状と課題について説明

### 【意見交換】

(委員)

夜の東口は真っ暗で人も通らず、何とかすべきである。夜でも安心して若い女性や学生が利用できるカフェ等があればよいと思う。

(委員)

古賀駅の駐輪場から住宅地を通って通学している学生が多く、東口が暗いということは課題と考えている。特に、線路沿いの桜並木の箇所が暗いという意見が寄せられている。

(委員)

部活をしている多くの学生は、帰宅時間が夜の7～8時くらいである。暗いところに不審者がいて通報したといったこともあり、防犯面で危機感を感じる。

(委員)

西口については、道路幅員が2m未滿の狭い場所では通勤時間帯に車が通ると人も歩けない。

(委員)

古賀駅周辺は道幅が狭いという印象がある。自動車・自転車・歩行者が安全に利用できる道幅の確保が必要だと感じる。

(委員)

古賀駅周辺でのライフスタイルを考えていくにあたり、昼間人口と夜間人口の差や時間帯別の乗降客数などの情報を把握しておいた方がよい。

(委員)

コロナの影響について、夜は特に高齢者の外出が減っているように感じる。また、飲食して帰るときの交通手段として、特に土日はタクシーが不足している。

(委員)

西口、東口ともに、夜だけでなく昼間にいる人が少ない。

(副座長)

古賀駅は周辺駅の中で、九州自動車道のインターチェンジとの距離が一番近い駅であるので、その利点を活かした施策はあるのか。

(古賀市)

インターチェンジと駅が近いことについての施策は、現在は特段の考えはない。しかし、インターチェンジ付近のグリーンパーク周辺はポテンシャルがあると考えており、観光・情報発信の拠点機能を設ける可能性について市役所内の部署3課でプロジェクトチームを立ち上げて検討を行っている。

(座長)

市全体の交通をどう考えるかは重要であり、古賀駅周辺やインターチェンジ付近をどのような拠点とするか、それらがどう関連するかについては、部署間で連携して検討して欲しい。

(古賀市)

食品加工団地はJRの東側に立地しているが、その企業バスの多くは、東口ではなく西口を利用している。東口を使わない理由として、アクセス性が悪いということを知っている。一方で、西口も道路幅員が狭いという課題がある。

(副座長)

今回の整備において、近隣工場のブランドイメージの向上や、ビジネスの創出にもつながる連携ができればよい。

(委員)

他の駅前と差別化できればよいと考えており、残るニビシ醤油の工場は操業を続ける予定であるので、「見せる工場」ということを構想の一つとして考えている。

(副座長)

資料では、課題としてオープンスペースの不足が挙げられているが、地域の人が夏祭りや商店街のイベントなどで、普段どのような場所を使っているか確認したい。

(委員)

イベント等については、駅東側は市庁舎に広い駐車場と公民館があり、夏にはそこで祭りを行っている。現状、東口を利用して何かイベントを行うということはない。

(委員)

東口では自動車での送迎において迎えの場合は待機が生じ、特に雨の日は駅前に車がずらっと並ぶ。整備がなされたとしてもこの傾向は変わらないと思うので、対応が必要であると思う。

(座長)

交通処理も重要だが、駅前が快適で豊かな場所になると、待つのも楽しい場所になる。そのようなスペースや施設があればよいと思う。

### (3) 今後の議論の方向性と進め方

今後の議論の方向性と進め方について説明

#### 【意見交換】

(委員)

まずは具体的なプランを一つ描いた上で、そこで想定される課題点を議論し解決していくという進め方がよいのではないかと。

(座長)

ビジョンを共有できるような資料づくりと議論を心掛けたいが、早くから具体の案があると、議論がその案に引っ張られてしまうことが危惧される。自由な意見や発想から、最終的によいプランを具体的に作りあげていきたいと考えており、そのような形で会議を進めていきたい。

(委員)

まちづくり基本計画とはどのようなものなのか。

(古賀市)

まちづくり基本計画は本整備基本計画と平行して検討を進めているものである。今回の整備基本計画は、公共部分の整備について検討していくもので、まちづくり基本計画は、これまで市が検討してきた内容を、広く共有するために作成しているものという位置づけである。本整備基本計画を作成するにあたり、まちづくり基本計画に沿う内容として必要な情報も含まれると思うので、次回又は次々回の会議において、何らかの資料をお示ししたい。

### (4) 次回以降のスケジュール

次回以降のスケジュール(資料5)について説明

次回策定会議 日時:令和3年2月10日(水)14:00～16:00

会場:古賀市立歴史資料館(サンフレアこが)2階 中会議室

以上